

昭和55年度 和歌山県文化功労賞

さか もと ゆう じ
阪 本 祐 二

住 所：和歌山県御坊市

出 身 地：和歌山県御坊市

生 年：大正14年

◎業績及び経歴

東京農林専門学校(現東京農工大)に学び、昭和23年以来故大賀博士に師事、学校教育に専念するかたわら、ハスの研究に没頭、この研究を通じて、広く文化的業績をのこされた。

ハスは、植物のなかでも特に人類文化史の中で重要な位置をもつ植物であるといわれているが、氏はハスのルーツと、伝播経路、ハスの文化史や品種保存、また育種交配による新しいハスの作出など研究され、大賀ハスが古代ハスであることを学界から認められ注目を集めた。またハスの生態研究だけにとどまらず、その民族、工芸、美術、文学に至るまで広くその様を追求されてきた。

育成指導面では、万国博日本庭園・和歌山城・唐招提寺等数十ヶ所、国外では中国、インド、アメリカ、韓国、ブラジルにおける品種保存、育種につとめ国際親善を果たされた。

1963年大賀ハス(古代ハス)の種を、中国に贈ったことなどにより郭沫若氏より感謝状を受けたほか、1973年ケープ・ヘンリー・ウーマンクラブ(バージニア州アメリカハス保護団体)から、また1973年オースチン市(テキサス州)からも感謝状をうけられている。

昭和54年12月急逝されるまで日高高校教諭、大賀ハス研究会事務局長を務め、同年従五位勲五等瑞宝章を受章されている。

著書として「蓮」、「花蓮(共著)」がある。